

平成 29 年度 第 1 回二宮町総合戦略評価委員会 議事要旨

開催日時	平成 29 年 10 月 20 日（金） 9:30～11:50		
開催場所	二宮町町民センター 3 階 3 A クラブ室		
出席者	委員	出席 8 名 渡辺 訓任 委員、花上 美智子 委員、平田 光枝 委員、 古澤 有三 委員、後藤 伸 委員、脇 治 委員、樋口 徹雄 委員、 神保 智子 委員 欠席 0 名	
	町	政策総務部長 政策担当参事	
	事務局	政策総務部企画政策課 3 名	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1 人
会議次第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議 題 (1) 「二宮町総合戦略」における数値目標及び K P I の見直しについて (2) 二宮町総合戦略政策評価に対する意見等について (3) その他 4. 閉 会		
配布資料	資 料 1 「二宮町総合戦略」における数値目標及び K P I の見直しについて 資 料 2 総合戦略政策評価シート（平成 28 年度実績） 資 料 3 総合戦略施策評価（平成 28 年度実績）結果一覧 参考資料 1 二宮町総合戦略評価委員会設置要綱 参考資料 2 二宮町総合戦略評価委員会運営要領 参考資料 3 二宮町総合計画評価委員会委員名簿 二宮町人口ビジョン 二宮町総合戦略 第 5 次二宮町総合計画 中期基本計画		

【議事要旨】

(1) 「二宮町総合戦略」における数値目標及び KPI の見直しについて

(主な意見交換等)

特になし

(2) 二宮町総合戦略政策評価に対する意見等について

① 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる

・ 二宮町総合戦略評価委員会としての評価は、「2」

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

- 政策評価が「1」ということに賛成できない。施策評価で一部改善する必要があると評価された施策があるのに、政策評価が「1」になるのはなぜか。
- 個々の施策の評価は納得するが、政策評価を「1」として良いかは疑問である。個別の話になるが、駅前の転回場は駐停車ができず、不評である。駅前町民会館をもうすぐ廃止すると聞いているので、何らかの形で活用できないかと考えている。町ではさまざまなプロジェクトを推進しているとは思いますが、政策評価を「1」と評価できるほど推進できているのか。政策評価「1」というのは、周りを巻き込んで、生きた施策として展開できて、初めて「1」と評価できるのではないか。
- 移動町長室で町長から駅前町民会館をスクラップするという話は聞いたが、スクラップした後、何にするかは話がなかった。町民と一緒に考えましょう、と広い入口みたいなどころを示してもらえると、まちづくりへの参加が進むのではないか。

防災については、地域ごとに温度差があると感じている。地区のマニユアル化は進んでいない。地区の特性を考慮しながら、地区が主体的に作るのが、良いのかもしれないが、足りない部分は町で手を差し伸べてほしい。
- 公共施設の再配置に関して、策定方針の中でマーケットサウンディングに重点が置かれていたが、具体的に良い提案がなかったということで、民間活力の活用への視点が変わってきていることから、そのあたりを踏まえ、見直しが必要なのではないか。

基本目標1の数値目標「住み続けたいと思う町民の割合」であるが、目標値を80%ときっちりとした数字にできないか。それと関連して、KPI「健康寿命」については根拠がほしい。ここは、町の姿勢を示す部分であることから、先々の目標との関連性を持たせてほしい。健康寿命に関連して、認知

症に関する具体的な取り組みが出てこなかったもので、改善すべきである。

地域防災については評価できるが、先ほど意見が出たとおり、地域により温度差はあるものの、K P I「地区防災マニュアルの策定」の全地区達成が31年度では遅いのではないかと。今のスピードなら、30年度でもできるのではないかと。

- 施策評価の結果を踏まえると、政策評価を「1」とする理由が分からない。特に、施策「公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり」の評価がなぜ「1」なのか疑問。評価が甘いのではないかと。政策評価の【説明】に、「従来の施策の縦割りの弊害を解消し、部局横断的に」と記載があるが、全くできていない。
- K P Iの達成状況で判断されるべきである。しかし、目標値自体が適正であるかは疑問である。たとえば、数値目標「住みたいと思う町民の割合」の目標値を79.5%と設定しているが、なぜ79.5%なのか。この設定が正しいか否かという議論は行われるべき。
- ◎ 目標値に関する質問が出ているので、事務局から説明してほしい。
- もともと目標値に数値が置かれていたものもあったが、抽象的な設定となっていたものは、一つ一つを調査し、実情と施策に合わせて設定し、町の総合戦略推進本部で置き換えた。また、他の計画で設定している目標値を引用している場合もあり、たとえば、数値目標「住みたいと思う町民の割合」は、国の補助金をもらうために作成した地域再生計画で掲げている数字であり、K P I「公共施設の総延床面積」は昨年度作成した「策定方針」に基づく数字である。今回数値化したものは31年度の目標値のみであり、目安値は、基準値と目標値を直線で結んだ各年度の数値である。
- ◎ 本委員会として、目標値に対する意見を述べることはできるか。
- 目標値の見直しに関するご意見をいただくことはできるが、具体的に設定するのは、町の総合戦略推進本部である。ただ、今回評価いただきたいのは、基本目標を達成するために設定された、施策を見直すべきか否かということである。
- ◎ 政策評価は「1」から「3」のうち、一つしか選ぶことができないのか。「1」だけでなく、「2」も「3」もチェックすることはできるのか。
- 「1」と「2」同時にチェックが入るということはあるが、数値目標を見直すべきだということであれば「3」にチェックが入るが、個々のK P Iの見直しについては、全体の話になるので、意見書として出していただきたい。
- もう一つ、ここで時点の問題を確認しておきたい。今回の評価は28年度の実績についてである。29年度もすでにだいぶ進んでしまっているので、なかなか難しいと思うが、そこの整理をお願いしたい。
- 施策の段階で、基本目標を達成するための施策としてふさわしいか否か、

このまま施策を推進していけば、基本目標を達成できるか否かが見極めのポイントになるかと思うが、その理解でよろしいか。

- その通りである。
- ◎ 「1」という評価で良いという意見は出てきておらず、一部の施策を改善する必要があるということで、評価は「2」としたいがよろしいか。
- それは、基本目標を構成する施策の一つを見直すということか。それとも、施策の中の一部を見直す必要があるということか。
- ◎ 後者である。
- 最終的には4つの基本目標について評価するということか。
- 政策で評価するのは難しい。あとは感覚的な問題で、話し合いで決めるしかない。施策を見て、政策全体に影響が大きいということであれば、「2」の評価もやむを得ないと感じている。しかし、施策を動かすことは難しい。
- 施策が悪いわけでも、方向性に大きく反対しているわけでもないが、達成の度合いややり方に問題点がある。その問題点をどこで表現できるのか。
- 部分的なところで改善するのであれば、「2」でよろしいかと思う。大きな施策の転換であっても、施策の一部見直しであっても、「2」にチェックが入ることは十分あり得る。細かいご意見については、【意見等】のところでお願いしたい。よって、「1」と「3」、「2」と「3」に同時にチェックが入ることはあり得る。評価として、「1」が最も高く、「3」が最も低いというものではない。
- ◎ そうだとすると、これまでの議論により、暫定的ではあるが、「2」と「3」にチェックが入るということではよろしいか。
- 数値目標の見直しについて、それほど議論はなかったのではないか。
- 平成28年度の実績値は80.5%ではあるが、アンケートの結果であるため、来年度はどのような結果になるか分からない。むしろ、それはそれほど大事な話ではないのではないか。「3」は外していいのではないか。
- ◎ それでは、評価は「2」でよろしいか。
(異議なし)

② 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる

・二宮町総合戦略評価委員会としての評価は、「1」と「3」

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

- 県営テラス、県営住宅へのアプローチについて、触れられていない。それについても考えるべきではないか。

ホームページの数値は非常に良いが、これはシティプロモーションの成果が表れているのではないか。その原因を評価し、継続して活かすべきである。

また、ラディアンの文化行事について、図書館の来館者数は減少しているが、図書館の行事の参加者数は多いと聞いている。町の高齢化等を考慮すると、図書館に来てもらうだけでなく、図書館が地域に出向くことについても、検討の余地があるのではないか。抜本的に利用者の増加を図るのであれば、展示ギャラリーの活用やカフェの併設等、さまざまなアイデアはあるが、事業化、施策化されていない。

施策「特色ある学校教育により子どもたちの生きる力の育成」は見えない部分はあるが、コミュニティ・スクールを導入するのであれば、福祉や防災の分野で地域コミュニティと連携する施策を盛り込んでいただきたい。

- ラディアンの施設使用料を見直すべきである。ラディアンホールの稼働率は高くないが、藤沢市等のホールは超満員である。施設としてはラディアンは良いので、使いたがる人は多いが、使用料が高い。町の活性化のためにも、ラディアンホールの活用を改善してほしい。
- 社会移動数が大きく改善したが、その原因をよく評価すべきである。それが、取り組みの成果であるのなら、ぜひ目標値を上げてほしい。どんどん人が入ってくることが町の活性化に繋がるとともに、インセンティブになる。できれば目標値をプラスにしたい。
- 移住者の発信により、新たな移住者を呼ぶことがある。ホームページアクセス数も大事だが、町のホームページに発信者のリンクを貼る等、個人の発信を応援してほしい。

ラディアンは使い勝手を良くしてほしい。展示ギャラリーも数日連続で利用すると、夜間料金がかかるので、費用が高くなる。また、他の市町では、施設を使ってもらうためのサービス精神がある。ラディアンの施設稼働率の向上のためには、全体を見直す必要がある。

- ◎ 施策に関しては概ね肯定的である。あとは運用の問題である。もう一つ、数値目標についてご意見があれば、お願いしたい。
- 人口ビジョンに基づき、数値目標を定めている。実際には少し改善されてきているので、目標値を変更したほうが良いとのことであれば、意見として出してほしい。但し、人口ビジョンを見直すことはできない。町としても、転出超過を抑制するため、さまざまな施策を展開しているが、それらが功を奏して、この結果となっているかを分析できていない。
- 町の将来を考えたら、他の市町より、人口減少をいかに抑制するかということが大事である。その目標値を実現するために、施策を打つということを考えれば、目標値を0またはプラスに設定すべきである。
- 原因の解明ということが指摘されたが、町としても、転入者、転出者のアンケートを行う計画がある。その上で、一過性のものなのか否かを見極めて、

目標値を見直すべきか否かを判断していきたい。

- K P I 「これからも運動を続けたいと思うと回答した児童生徒の割合」とあるが、「思う」というよりも、実際に運動習慣がある人の割合のほうが分かりやすいのではないか。
- これは、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の設問なので、言葉を変えることはできない。
- ◎ 評価は「1」と「3」でよろしいか。
(異議なし)

③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる

・二宮町総合戦略評価委員会としての評価は、「1」

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

- 子どもの居場所づくりという事業があったが、それに加えて、学童保育や放課後教室等、施策的にまとまりがない印象があるので、そういう点で改善は必要である。ただ、29年度から子育て支援の体制がスタートしていることから、その点については十分評価できるのではないか。

また、施策「子育てと仕事の両立の推進」は啓発が中心となっているが、啓発以上に環境を整えることが大事であることから、取り組みとしては弱い。なんとか頑張って、民間の先進事例を作っていけないかという思いもあるので、評価としては「2」である。

- 子育て中はフルタイムで働くことは難しく、地元でパートに出ることが望ましいが、現状、駅前のスーパーや商店がなくなっており、その結果、働く場所も失われている。基本目標4と連携を図り、身近なところで働くことができる環境づくりを施策「子育てと仕事の両立の推進」にも盛り込んでほしい。
- K P Iについて、一部実績が出ていないものもあるが、それ以外は目安値をクリアしていることを考えると、K P Iを導入している限り、「1」ではないか。
- 以前、町には小さな公園が多いため、公園を統廃合するという話を聞いたことがあるが、現状はどのようになっているか。
- 公園の統廃合は、特色ある公園づくりに向けて、実施計画を策定しているところである。基本目標1に該当する。
- ◎ その点を意見として入れてほしい。評価としては「1」でよろしいか。
(異議なし)

④ 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる

・二宮町総合戦略評価委員会としての評価は、「2」

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

○ 施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」について、二宮町地球温暖化対策実行計画の区域施策編の策定を見送る方向に読み取れる。町として策定が難しい部分はあると思うが、策定する必要があるのではないか。町の施策評価は「3」となっているが、むしろ、ここは引き続き、推進すべきではないか。それと並行して、29年度から温暖化対策事業化実施研究会が活動していると思うが、エネルギーの地産地消が地域経済に与える影響を明確にし、方針を早く立てていただきたい。

併せて、農業に関して、鳥獣被害が大きな問題となっているが、里山保全、新規就農、耕作放棄地等の問題を統一的に解決していく観点が必要である。また、オリーブに関して、二宮でイタリア料理店やパン屋が目につくことから、オリーブとトマトと玉ねぎが揃えば、イタリア料理ができるのではないか。新規就農で苦慮されているのは、販売の面と聞いているので、支援を強化すべきではないか。

● 二宮町地球温暖化対策実行計画の区域施策編に関して、町では、28年度に地球温暖化対策検討委員会を立ち上げ、議論を進める中で、町民を含め、町全体の機運が高まっていないことから、町民に意識づけを優先すべきという意見が出された。そこで、区域施策編の策定を少し先延ばしして、まずは、基盤づくりを優先しようと、施策の見直しを行うこととした。区域施策編が必要ないということではない。

○ K P I 「起業・開業件数」の目標値が低いのではないか。現場では、起業希望者はいるので、もう少し増やしてもいいのではないか。空き店舗とマッチングして、起業をサポートする体制づくりをしてほしい。駅前の商店街が衰退しているので、重点を置いた上で、町の総合的なサポートをお願いしたい。

オリーブに関しては、町の協力を得て、積極的に推進しているところではあるが、町の面積が狭いので、オリーブに取り組む農家が少ない。オリーブが、今後、町の資源になっていくかは疑問である。

○ オリーブを町の魅力づくりに活用することはできるが、特産品として、商品として売るとは非常に難しいと聞いた。町の施策評価の中でオリーブに触れているが、実際のオリーブ農家の声を聞いたりすると、疑問である。

○ 二宮町単独ではなく、広域的に取り組む必要がある。

● オリーブについて、小田原、山北、二宮で湘南オリーブ振興協議会を立ち

上げ、広域的に商品化を含めて、検討しているところである。

- 観光名所が少ないので、本来なら、海岸をもっと活用すべきである。
- クリーン社会の取り組みの一つとして、町には坂が多いので、電動式のレンタルバイクをしたらどうか。
- 施策「身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出」の施策評価に、「企業側と求職者側とのズレが生じている」と記載があるが、どのようなズレなのか。人数の問題なのか、あるいは、求職内容なのか。
- おそらく、働きたい人がいて、求人もあるが、条件も含めた、求職内容とマッチしていない。
- 何をするにも土地が必要である。再生可能エネルギーの活用は将来、必ずやらなければならない。それを考えるときには、二宮だけでなく、広域的に考えてほしい。
二宮町は住宅地なので、最近のIT環境の進展を考えれば、当然、テレワークが全体の流れとなってくる。駅前にテレワークの拠点をつくり、企業と提携して、環境を整備するといいいのではないか。
- パソコンを使うので、Wi-Fiが整備されていて、仲間が集まり、アイデアを共有できるような場を町でなくても、民間のカフェ等でもいいので、起業家が集まれる場所があればいい。そうした人たちの収入が上がると、新たな雇用を生み出すことができる。
- 町が投資して、コワーキングスペースを作ることはハードルが高いが、人と人との繋がりを町としてどのように生み出すことができるか、考えているところである。
- 町には人が集まるきっかけづくりをしてほしい。併せて、今、新たに町に入ってきている人たちに、ずっと住み続けてもらえるよう、支援を継続していく必要がある。
- レンタル料を取ってもいいと思うので、狭くて構わないので、起業家を支援する施設があってもいいのではないか。
- 町内の起業はほとんど飲食、次にIT関係である。行政に頼る必要はないが、民間が活力を出すために協力はしてほしい。
- ◎ 評価としては、「2」でよろしいか。
(異議なし)

(3) その他

次回の委員会については、日程調整した結果、11月10日(金)9時30分～としたい。正式な通知は後日送付する。

【以上】